

鄭銀珍 著

韓国陶磁史の誕生と 古陶磁ブーム

▶A5判上製・466頁／定価:本体 14,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1983-4

【2020年3月刊行】

「高麗青磁」と「朝鮮白磁」に代表される韓国古陶磁。
19世紀中葉以降の近代化にともない、在来の日用品的な陶磁器が廃れていく一方で、古陶磁が「美術品」として「再発見」され、収集、鑑賞、そして研究が本格化した。
その中で大きな役割を担ったのが浅川伯教・巧の兄弟である。韓国の人々とその文化に心を寄せた二人は、民芸運動の創始者である柳宗悦にも決定的な影響をあたえた。

本書は、浅川兄弟の活動を軸として、近代における韓国陶磁史の誕生と古陶磁ブームの全容を鮮やかに浮かび上がらせる。

【内容目次】

序 章

韓国陶磁と近代／先行研究と本書の特色／本書の構成

◆第Ⅰ部 東アジアの近代化と陶磁産業◆

第1章 近代日本の陶磁輸出—アメリカ、中国、朝鮮

輸出の始まりと粗製濫造／アメリカ／中国／朝鮮

第2章 日本産業陶磁の朝鮮半島への進出

朝鮮向け輸出／粗悪品問題／嗜好を探る／流通

第3章 日韓両国内の陶磁生産の状況

日本国内の生産状況—肥前一／日本国内の生産状況—愛知・岐阜—／韓国一窯業の衰退と近代化政策

◆第Ⅱ部 高麗青磁の再発見とその再現◆

第4章 韓国陶磁研究の始まり

西洋における収集と研究／姿を現す高麗青磁／コレクションの形成／日本人による研究

第5章 高麗青磁再現史

初期の試作／製品化／様式と再現技術／「再現」の多様性

◆第Ⅲ部 朝鮮白磁の美の発見

民芸運動の萌芽と韓国陶磁産業への展望◆

第6章 朝鮮白磁の美の発見

朝鮮白磁壺との出会い／柳宗悦／『白樺』「李朝陶磁器」特集号／「李朝」ブーム

第7章 浅川兄弟の方法論と朝鮮民俗調査

「陶片を読む」／近代茶人の勃興／方法論の確立と展開／近代朝鮮とフィールドワーク

第8章 地方への視点—新たな陶磁産業への展望

産業の育成／地方窯での作陶／戦後に残された窯—高敞—／「真の工芸」

補 論 学術調査と古陶磁ブーム

高麗青磁／金冠塚、楽浪、朝鮮白磁／「美の泥棒」

結 論

ジャポニスムから朝鮮市場へ／甲申政変と高麗青磁／「穏かに膨らんだ円い物」

じょん・うんじん…立命館大学大学院文学研究科人文学専攻博士課程後期課程学位取得(文学博士)。大阪市立東洋陶磁美術館学芸員。専門は東洋陶磁史、とくに韓国陶磁史。2017年、第38回小山富士夫記念賞(奨励賞)受賞。


思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行:思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	韓国陶磁史の誕生と古陶磁ブーム	本体14,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1983-4
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	代引	(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		

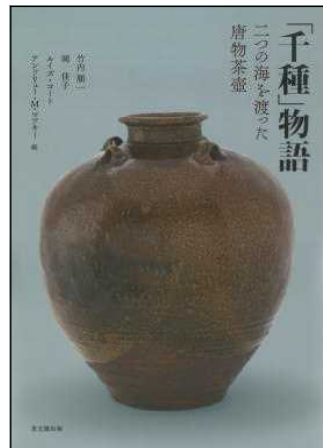
本書HPのQRコード

「千種」物語—二つの海を渡った唐物茶壺—

竹内順一、岡佳子、ルイズ・コート、アンドリュウ・M・ワツキー編

13、4世紀頃に中国で生まれたひとつの壺が、東シナ海を渡って日本に伝わり、16世紀に茶の湯の道具として「千種」の銘を与えられ、名物となった。やがて21世紀にはもうひとつの海、太平洋を渡り、アメリカ合衆国ワシントンDCにあるフリーア美術館（管理運営：国立スミソニアン協会）に収められた——唐物茶壺「千種」の歴史的な変遷を経糸に、「千種」をめぐる多様な文化事象を緯糸に織りなされた、壮大な物語。日米中の研究者による、歴史、美術、考古学、科学などの多角的な分野を網羅した最新の研究成果を収録。

▶A5判・284頁／本体3,200円(税別) ISBN978-4-7842-1870-7



内容目次

I 中国からきた茶壺

唐物が茶道具になったとき(竹内順一)/唐物茶壺の展開(李寶平・栗建安/訳:中井淳史)/唐物茶壺(西田宏子)日本における唐物茶壺の考古学(井上喜久男)/茶壺の役割—緑茶の味との関係—(大森正司)

II 「千種」のすがた

「千種」について(ルイズ=コート/訳:松村真希子)/一六世紀の茶会記に記された「千種」の拝見記(竹内順一)/「千種」をめぐる名(アンドリュウ=M=ワツキー/訳:常田道子)/「千種」の口覆いについて(吉岡明美)/「千種」の口覆いと名物裂・富田金襴(佐藤留実)

染料 — 「千種」に附属する染織品から(毛利千香, プライス=マッカーシー)

III 「千種」、ふたたび海を渡るまで

「千種」の伝来と唐物茶壺—江戸時代初期を中心に(岡佳子)/野々村仁清作「色絵叭々鳥図茶壺」をめぐる(岡佳子)/一七世紀以降の「千種」の伝来(熊倉功夫)/暗々斎宗也筆「茶壺紐飾雛形書」について(岡佳子)/「千種」と国際美術市場(ジュリア ミーチ/訳:前崎信也, 清水彩野)

「千種」関係史料集

茶会記・名物記等/「千種」附属文書/久田家文書/「千種」の主要附属品一覧

近代京都の美術工芸—制作・流通・鑑賞—

並木誠士編

明治・大正期の京都で制作・流通・鑑賞された絵画、工芸、建築、庭園さらには定期刊行物や書物など広範なジャンルをとりあげて論じることにより、近代京都の美術工芸をめぐる状況の解明を試みる。また、化学者や技術者、パトロンや学者たちなど、美術史の文脈にはこれまでほとんど登場しなかった人びとが、美術工芸家をめぐるネットワークとして浮かび上がる。いまだ途上にある、近代京都の美術工芸研究を更新し、その作品や資料の評価、位置づけを問い直す論集。

▶A5判・608頁／本体11,000円(税別) ISBN978-4-7842-1938-4

京都 近代美術工芸のネットワーク

並木誠士・青木美保子編

モノとモノ、コトとコトの関係も結局は人間が中心にある。ここで考えたいのは、人を中心とした、近代京都の美術工芸にまつわるヒト・モノ・コトのネットワークである。点でも線でもない、ネットワークという「面」からアプローチする試みは、他の地域の近代を考えるとときに重要な手がかりになるだろう。ビッグネームだけでは構築されない美術工芸の現場をあぶり出すことにより、よりヴィヴィッドな美術史が見えてくる。

▶A5判・352頁／本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1882-0

アーツ・アンド・クラフツと日本

デザイン史フォーラム編/藤田治彦責任編集

アーツ・アンド・クラフツ運動は、ヨーロッパ大陸で新様式を誘発しながら広がっていった。専ら鑑賞を念頭に制作される美術工芸とは異なる「生活」のための工芸運動であり、また社会改革をめざすデザイン運動でもあった。このアーツ・アンド・クラフツ運動と日本との関わりをさまざまな視点から論じ、デザイン・工芸・美術・社会・産業・環境・生活などの立体的な関係を考察する一助とする。

▶A5判・306頁／本体2,900円(税別) ISBN4-7842-1207-8

※近代工芸運動とデザイン史

デザイン史フォーラム編/藤田治彦責任編集

「近代工芸運動」という視点を導入することにより、「近代デザイン史」という視点では抜け落ちている、各国における芸術分野での歴史・重要な動向を様々な点から解き明かす。

【内容】序文 近代工芸とモダンデザイン/第1部 ヨーロッパの近代工芸運動/第2部 欧米の近代工芸運動とアジア/「近代工芸運動とデザイン史」関連年表

▶A5判・336頁／本体2,900円(税別) ISBN978-4-7842-1438-9

ダーティントン国際工芸家会議報告書

—陶芸と染織 1952年—

ダーティントン・ホール・トラスト、ピーター・コックス編/藤田治彦監訳

バーナード・リーチや柳宗悦、濱田庄司らが集った国際工芸家会議の討議について、本文篇で翻訳を、資料篇で原典及び関連資料を掲載。

▶A5判・590頁／本体8,500円(税別) ISBN4-7842-1141-1

※近世京焼の研究

岡佳子著

桃山時代から江戸時代末まで京都で焼かれたやきものの窯業的な変遷を、文献史料と出土資料によって明かす。名工たちの陶業を産業としてとらえ、技術の系譜や産業的な展開、受容層のあり方、流通・市場の動向などの視点から京焼陶工の実態やその作風、あるいは京焼の通史を見直した一書。

▶A5判・434頁／本体6,300円 ISBN978-4-7842-1558-4

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半から20世紀前半にかけて、西洋のほぼ全域に渡ったジャポニスム。本書ではこれまであまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開をやさしく読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。学会20周年記念出版。

▶A5判・284頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1053-9

※バーナード・リーチ再考

—スタジオ・ポタリーと陶芸の現代—

エドモンド・ドゥ・ヴァール著/金子賢治、鈴木禎宏解説/北村仁美、外館和子訳

日英の資料を駆使し、陶芸家としてのリーチへの真摯な愛情とケンブリッジ大で英文学を修めた批評家としての鋭い現代陶芸論を試みる。

▶A5判・298頁／本体4,800円(税別) ISBN978-4-7842-1359-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。